

松山大学女子駅伝部 殿

平成19年創部

■事績

大学女子駅伝日本一を目指して平成19年に創部された松山大学女子駅伝部。大学女子駅伝の上位のほとんどは都市部の部員数の多い大学だが、松山大学は地方大学で部員10人前後と少ない人数ながら全国トップクラスの強豪チームとして活躍している。

毎年秋に行われる全日本大学女子駅伝には、7年連続で出場。

平成22年には4位に入り、6位以内に与えられるシード権を獲得した。

その後、5位、4位と連続して上位入賞を果たすと、平成25年には1年生中心の布陣で過去最高の3位入賞を果たす。

去年も4位に入り5年連続でシード権を獲得、優勝チームとのタイム差は1分43秒と、前の年より55秒縮めるなどトップとの距離を詰めている。

また12月に行われる富士山女子駅伝でも平成25年は6位、去年は5位と上位入賞を果たしている。

短距離出身の大西崇仁監督の指導の下、創部から数年で全国のトップクラス入りを果たすなど、急成長した松山大学女子駅伝部は、地方大学初の女子駅伝日本一を目指して日々練習に励んでいる。

■主な受賞歴

- ・平成23年度 大亀財団スポーツ賞特別賞